

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	有限会社やわらぎ	代表者	寺川勲雄	法人・事業所の特徴	• 有限会社やわらぎとして、松山市、東温市にグループホームを4事業、小規模多機能型居宅介護事業を2事業、介護保険外サービスとして、市内に高齢者向けの賃貸住宅の運営を行っている。 • 小規模多機能型居宅介護やわらぎいくし村は4階建ての3階部分で同一建物内の2階がグループホーム、4階が高齢者向け賃貸住宅、1階には内科・循環器内科専門の病院（別法人）が併設。同一敷地内には、NPO法人SORA精神障がい者の就労支援事業所を運営している。サービスの内容としては住み慣れた地域での在宅生活の支援として、「通い」「訪問」「宿泊」のサービスをお一人おひとりの利用者、ご家族の意向や生活環境、身体状況等を踏まえて、必要なサービスを共に考え、もてる力を生かせるような介護計画と実践を重ねている。					
事業所名	小規模多機能型居宅介護やわらぎいくし村	管理者	田村富美子							

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	6人	4人	15人	1人	2人	13人	人	43人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> 介護記録が紙の媒体からタブレット等の端末機へ変更し、操作に慣れ、業務の効率に繋げる。（申し送り事項の周知が更に徹底される。） 	介護記録を昨年11月から紙媒体からタブレットで行うようになった。操作に慣れては来ているが、紙媒体の時に比べて記録の確認に手間がかかっているため、バイタルチェックの記入漏れが増えていく。	<ul style="list-style-type: none"> 良くされている（努力している） 職員の仕事に対する意識が高い。よく努力していると思う。 スタッフさんの努力により利用者・きちんと客観的に評価されていると思う。 よくできている。 まだわからない。 良いと思う。 誠実にお仕事に向き合っておられるのを感じます。 特にありません。 多くの職員さんが努力されていると思います。 事業所評価が見やすくなっています（今まででは字が小さく読みにくかったです） 特にありません 毎回思うのですが、「サービス評価」実施にあたり始動、対応が早く、また、職員への意識付けをされたうえで実施していることがうかがえる点においてその取り組みは高く評価できます。 	○介護記録でバイタル（水分・食事量・血圧・排泄等）の記入漏れをなくす。

<p>(続き)</p> <p>A. 事業所自己評価の確認</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・9テーマそれぞれ真摯に改善に取り組んだことが伺えますが、新型コロナ等の影響もあり、結果として改善に至らなかった項目が複数見受けられるのもやむを得ないと思います。 ・どの項目もできている点やできていない点について意見が多く出されていて、スタッフの方全員が取り組まれていると思いました。 ・夜勤者専従の方を含め、全職員で自己評価を行っている。 	
<p>B. 事業所のしつらえ・環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・4階のベランダの有効活用をする。プランターの野菜作り以外に地域の方との交流の場として日よけのスペースを増やす。 ・1階の玄関の段差を解消する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の改善計画にあったスロープの設置は事業所内で検討しましたが、安全性を考慮した結果、断念した。 ・コロナ禍のため、地域の方との交流の場を4階に作る計画は行えていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・良い。（努力している） ・毎回いろいろ改善しながら仕事をしていることよくわかります。無理しすぎのないよう頑張ってもらいたいと思います。 ・適切な予算の範囲で工夫されていると思う。 ・ウォシュレット復旧願いたい。 ・いいほうだと思う。 ・良いと思う。 ・特にありません。 ・問題ないです。 ・事業所の方へ行けていないのでよくわかりません。すみません。 ・特にありません ・事業所内は清潔感を感じ、居心地の良い空間になっていると思います。 ・事業所のすぐ近くに交通量の多い道路がありますので、利用者の離所に注意してください。 ・コロナウイルスの影響で、事業所内の環境等見学させていただくことが難しく判断しかねる回答となってしまいすみません。 ・確かに1階玄関の段差にスロープがあると利用者の方の負担が減ると思う。 <p>○毎日の掃除を全職員が行う気持ちを持つ。他の職員がしてくれた時は感謝の気持ちを持つ。 ○整理整頓を心掛け、使ったものは元の位置に戻す。</p>

C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> 地域の文化祭や運動会、避難訓練等に参加し、そのつど会議で報告や意見交換をする。 	<p>コロナ禍のため、外部からの出入りやいくし村から外部へ出向くことを昨年に比べ大幅に減らしているため、地域とのかかわりが以前に比べて薄くなってしまっている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 大変良好です。 コロナウイルスの為、関りがないので皆で笑って逢える日を願っています。 地域の理解も得られていると思う。 わからない。 良くかかわっていると思う。 努力されていることが実を結びつつあるのではないかでしょうか。 コロナ感染予防のため今は何もできないと思います。 地域への発信、何か考えたいですね（今はコロナで難しいですが…） 地域の消防訓練に参加されたことは自己評価で確認できましたが、その都度会議で報告・意見交換ができるているのかがわかりませんでした。（N○、O○） 特にありません。 積極的に地域との交流に取り組まれている姿勢がうかがえ、地域に根差した事業所になろうとする意欲を感じます。地域に頼られる事業所になるよう期待しています。 事業所が所在する地域とは上手く交流ができているのではないかと感じます。 こちらもコロナウイルスの関係で積極的には取り組めなかつた項目かと思いますが、今後コロナウイルスの影響が落ち着きましたら地域行事の日程把握ができますよう、対策を考えいただけたらと思います。 コロナのため地域交流は難しいと思う。 	<p>○気持ちよく丁寧ないさつ・対応をする（コロナ禍で対応が増え、対応が雑になてしまっていることがあるため）</p> <p>（追加） ○コロナ禍の場合：（24時間玄関を施錠しており、来訪者が来られた時、帰られる時その都度開錠している。開錠をかなりお待たせがあるため、）開錠をお待たせせずに行う。</p>
----------------	---	---	---	---

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> ご利用者が生活されている地域の民生委員の方とつながりを作る。（独居老人の見守りや災害時のネットワークの依頼等） 	<p>今年度は利用者の方とその方がお住まいの地域の民生委員さんとのつながりを2名新たに作ることができた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 判りません。 ・今年はコロナ対応で一様でしょう。 ・地域の人々を支援していく取り組みを行っていると思う。 ・良いと思います。 ・わからない。 ・今後増え高齢者社会となることを考えると、地域に根差した事業所があるのは心丈夫だと思います。そのためには、地域に方々とのご協力も大きい力となりますね。理想と現実は厳しく大変な事もありますが、良い方向へと向かって伸びて行きますようにと願います。 ・特にありません。 ・仕組みづくりも大切かと思います。でも、以前に比べ努力されていると思います。少しでも意識されていることが大事だと思います。 ・今年はコロナウイルスのこともあり、地域行事に開催が中止になったこともあるかと思いますが、ドライブに行かれたり事業所内でできるレクリエーションをいろいろと考えられ実践しておられ、利用者の方の楽しみやすストレス軽減ができていると思います。 ・特にありません。 ・この項目は事業所泣かせの難問ではないかと思います。利用者個々の地域とのつながりが大切であることは理解できますが、事業所によっては利用者が広範囲に及ぶところもあり、人員・時間等に余裕があるならば取り組みも可能でしょうが、果たしてそのような余裕があるでしょうか？やはり、事業所が所在する新玉地区とのつながりを最優先にすべきと考えます。 ・地域に出向いてということはなかなか難しいかと思います。エコマップ作成等で何かご協力できることがありましたらぜひお知らせください。 ・利用者毎の地域のエコマップを作成するのはなかなか難しいと思う。 	<p>○エコマップを作成する。</p>
-------------------------	---	--	---	---------------------

E. 運営推進会議を活かした取組み

- ・運営推進会議で事業所の改善改革の進捗状況を報告する。毎回、会議の議題に上げておく。
- ・テーマを決めて研修会を開く。

- ・事業所の改善改革の進捗状況を運営推進会議で報告は行えた。
- ・コロナ禍で運営推進会議が文書開催になり、参加者が集まっての研修会は開けなかつた。

- ・よくできています。（よく意見が交わされ、努力している）
- ・組織運営の向上に役立っていると思う。
- ・わからない。
- ・特にありません。
- ・意見を受け止め、努力されていると思います。
- ・文書開催の実施で資料の準備や議事録の作成で大変かと思いますが、文書開催で行うことにより、今まで出席されなかつた方からのご意見をいただけたのではないかと思います。
- ・今は文書開催で集まることができませんが、事業所内で開催されていた会では地域の方をはじめ多種多彩な方が出席され、活発な意見交換ができている点が素晴らしいと思っていました。この点を取っても地域とのかかわりができると感じました。
- ・いろいろな意見を参考にされ、取り組まれていると思います。
- ・コロナの影響で地域とのかかわりは少なくなっているが、直接意見を言ってもらえたり、文書開催での運営推進会議でも、返信で意見をいただいている、とてもありがたいことだと思う。

○コロナ禍が継続の場合：
運営推進会議は文書開催になるため案内や報告等をわかりやすい文書になるよう心掛ける。

○通常通り運営推進会議が開催できる場合：テーマを決めて研修会を開く。

F. 事業所の
防災・災害対策

- ・年1回は夜間の災害を想定した避難訓練を実施する。
- ・緊急連絡網を回す訓練を毎月10日に行う。

- ・防災訓練は年2回行っているが、夜間を想定したものは行えなかつた。
- ・毎月10日に緊急連絡網を回す訓練は、継続して行えている。

- ・よくできているが、今はコロナの為判りません。
- ・防災訓練をよくやっている。
- ・防災訓練は絶対必要だと思います。
- ・よく工夫していると思う。
- ・わからない。
- ・できていると思う。
- ・防災訓練実践されてますが、移動等、大変なご苦労だと思いますが、継続の中で問題点があれば、改善につながることもあるかもしれません、継続してほしいです。
- ・特にありません。
- ・想像を駆使して、常にチェックしたいですね。
- ・ご利用者が生活されている地域の民生委員との方とつながりを作る独居老人の見守りや災害時ネットワークの依頼等をD、N o. Oの改善計画に記載がありました。日々の業務だけでも大変な中、利用者の方それぞれのネットワーク構築をされるのはすごいなあと思いました。
- ・事業所はもちろん、法人としても防災意識を高く持っているなと感じます。職員は大変だと思いますが、様々な訓練を積むことでいざというときに役立つと思いますので頑張ってください。
- ・地域の防災訓練にも少し参加できたということで、可能な範囲で事業所内、地域を巻き込んでの災害対策をしていただけたらと思います。
- ・防災、災害について 自己評価からが探すことができませんでした。毎月10日の緊急連絡網はうまく回せていますか？

○火災・地震・風水害・夜間にに対応した訓練を年1回ずつ行う。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和2年 9月 16日 (9:30 ~11:00)
1. 初期支援（はじめのかかわり）	メンバー	管理者1名、介護支援専門員1名、介護職員11名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人數）
① 前回の課題について取り組めましたか？	1人	9人	2人	1人	13人

前回の改善計画

- 新しいプランが出る前の最終週に介護支援専門員や管理者、日勤リーダーから説明を行なう。

前回の改善計画に対する取組み結果

おおむね行えているが、職員の勤務形態や、業務内容により、周知徹底が難しいところがある。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人數）
① 本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	2人	8人	3人	人	13人
② サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	1人	9人	3人	人	13人
③ 本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができますか？	1人	10人	2人	人	13人
④ 本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	人	8人	5人	人	13人

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- 自ら利用者の家族の方と会話するよう努めている。
- 取り組めた。
- プランの説明・確認
- 口頭の申し送りやタブレットの申し送りを注意して見てきた。
- 疑問があれば聞くようにしていた。
- 日々の申し送り・説明・介護支援計画書などで確認をしている。
- 利用開始後、情報共有のため別紙に記入し共有に努めている。
- 最低限必要なかかわり・支援
- 利用者のニーズを共有し、必要な介助を行う
- 利用者の不安を受け止め、家族のニーズにも努力をする。ご本人のアセスメントを決めるため、家族・関係機関とも連絡を取り合っている。
- プランの把握はできている。（利用開始前の共有）
- 利用開始するタイミングで緊急性があっても、カンファレンス、面談で情報収集できている場合もある。
- ご本人からの情報収集に努めている。

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・全スタッフへの周知が難しい ・耳で聞くだけで頭に残っていない。 ・綿密な支援 ・対応がおろそかになっていることもある。 ・利用者の不安の受け止めが不十分 ・現場での対応はできても対応に追われ、記録が不十分 ・家族、介護者との関係づくりの配慮は不十分 ・平等な情報共有に乏しい ・初期情報の記録が職員間によっては口頭のみとなり、記録として残せていない。 ・新しいプランを全職員が周知できていないことがある。 <p>(できていない理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要支援、要介護度でその人を見ようとしていた。 ・プランが最終週の頭にできていない。 ・大事なことはメモを残すようにしていらない。 ・余裕を持って対応できる状況ではない時がある。 ・単に忘れてしまっている。 ・利用者の行動を問題点としてみている。 ・介護についての話し合いで話しやすい人と話さない人とではらつきがある。 ・忙しいとき対応が不十分になってしまう。 ・家族とのかかわりがない。 ・利用者の方との対応で自分に余裕が持てない対応をしてしまう。 ・ミーティングへの参加ができていない。 ・新規プランについて周知する機関、伝達の計画性の不足 ・ケアプラン作成するためのプラン、実践 ・モニタリングのサイクルの中で実践にむすびつかないところは具体性の不足が考えられる。 	
次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・3分間研修で、サービス開始前に職員全員が対象の利用者のライフサポートプランを周知する。 	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和2年 9月 16日 (9:30 ~11:00)
2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	メンバー	管理者1名、介護支援専門員1名、介護職員11名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組めましたか?	2人	8人	3人	人	13人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 申し込み記録の綴じ方で最新を一番上にする。意識として業務開始前に申し込み記録に目を通しサインをする。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 申し込みチェックはつけやすくなったり、内容を覚えきれていないのは紙媒体の時と変わらない。 記録用紙を使用しているときは綴じ方で最新を一番上にすることができた。 R1年11月より記録用タブレットが複数台になったことで職員が申し込みを確認しやすくなったり、目通しやサインが改善がみられている。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 「本人の目標（ゴール）」がわかつていますか？		9人	4人		13人
② 本人の当面の目標「～したい」がわかつていますか？		9人	4人		13人
③ 本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？		7人	6人		13人
④ 実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かせていますか？	1人	8人	4人		13人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 申し込みの綴じ方は行えた。 11月から記録がペーパーレス化へ移行し、個人がチェックできるようになったことで、個人のペースでできるようになった。 タブレットの申し込みに発信できている（本人の目標、利用者さんの対応） プランに即した日々のかかわり スタッフ会等で振り返り次の対応へつなげている。 家族の困りごと、不安についての対処は一時的な改善はできている。 本人、家族の意向、葛藤など聴く、伝えるに努める 月1回の利用料請求書作成時、メモ程度の手紙を添えている。 ペーパーレスになり確認しやすくなった。 利用者のケアプラン、支援内容をよく見て行えている。 利用者との会話の中で何がしたいのか聞き出せている。 当面の目標を目指したかかわりが少しできている。 	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・業務開始前の目通し、サインができない。 ・サインしても頭に残っていない。 ・綿密な支援 ・本人の目標に組めての支援の中で家族の意向が主になっているのではと疑問に思う時がある。 ・ミーティングでの発言は問題点に集中する場合が多い。 ・利用者によっては事業所が行うことに偏りがあり、本人の意向に沿えていないこともある。 ・次の対応へ生かせていない。 ・過去の申し送りは、覚えているのか自信がない。 <p>(できていない理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務開始前に行うという意識不足 ・出勤日数の関係ですべての申し送りに目を通せていない。 ・気になる点は口頭で聞くようにしている。 ・発言したことが改善に生かせていないのではないか。 ・利用者の方の現在に至るまでの経緯、家族との関係に異なりがあり、担ってもらうことが難しいことが多い。 ・認知症の状況で本人の理解・混乱・不安症状に個人差がある。 ・認知症の症状で同じことを繰り返したり、昼夜に限らず思いのままに行動してしまうことに対して、関わるものは精神的に追い詰められ負担が増えるため、関わるものペースが優先されている。 ・次の対応へのつなげていく際、拒否などで前へ進めていない。 ・新しい情報が来ると、どんどん過去のものが薄れていく。 ・利用者の方との一人ひとりの接する時間が取れていらない。 	
次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・業務開始前に前日の申し送りは必ず目を通す。 ・出勤中にそれ以前の申し送りに目を通す。 	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和2年 9月 16日 (9:30 ~11:00)
3. 日常生活の支援	メンバー	管理者1名、介護支援専門員1名、介護職員11名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組めましたか?	1人	8人	2人	2人	13人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 職員が把握しやすいように暮らしのシートとケアプランのファイルを準備する。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ケアプランと暮らしのシートのファイルの準備は行えた。しかし業務中にプランの確認をしたり、振り返りの活用ができない。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		3人	8人	2人	13人
② 本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	2人	10人	人	1人	13人
③ ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1人	8人	1人	3人	13人
④ 本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	2人	10人	人	1人	13人
⑤ 共有された本人の気持ちや対象の変化に即時的に支援できていますか?	人	9人	3人	1人	13人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> くらしのシートとケアプランのファイルの準備が完成した。 朝のミーティングで細かい支援の共有をするよう努めてくれる職員もいる。(情報の共有) 基本的な生活援助はできている。 過去の生活・個人情報に目通しし、理解する。 利用者の方の体調の変化への気づき、個々の生活スタイルの違いへ細かい配慮などできている。 プラン作成時に相談しあうことが多いので、実践での状況や気づきは出している。 見取り期に入った人・介助の手が必要な人に対してのかかわりに努めている。 ミーティングでは日々の支援などの気づきの発言をしている。 個々の介助の必要性の見極めを確認している。 朝の勉強会が役に立っている。 	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・生活歴の把握が不十分・ご本人の気持ちを把握出来ても対応し切れていない・過去の情報も10年前となると忘れてしまっている。・小さな気づきも申し送り等で共有できている。・チームでかかわりを徹底する時の途中経過の確認ができていない。・送迎など携わっていない部分の様子が把握できていないところがある。・何が大切なのか？優先を考えて行動をする。	
(できていない理由) <ul style="list-style-type: none">・ご本人の意思ではないところをしていただかなくてはならない。・気持ちにより添えているとは言い難い。・率先して自ら発案していこうという意識が不足。・サービスの必要性、目的が現場に伝えきれていない。・はじめはできていたが、当たり前になり見直し評価が十分にできていない。・即時的な支援ができていない。・利用者の昔の暮らしを生かしたケアの取り組みができていない。・夜勤専従のため・支援の中で後回し作業になっていることがある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none">・ケアプランと暮らしのシートのファイルの活用方法→昔の本人の暮らし方（昔の職業、特技、地域性等）を職員全員で情報収集してファイルに記入する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 2年 9月 16日 (9:30 ~11:00)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	管理者1名、介護支援専門員1名、介護職員11名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組めましたか？	人	1人	9人	3人	13人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 利用者のエコマップを担当者を中心に作成し、利用者本人を取り巻く環境や人間関係など把握し易くし、日頃のケアに活かす。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> エコマップの作成に取り組めていない。取り組むまでのアプローチもできていない。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？		5人	8人		13人
② 本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	人	5人	6人	2人	13人
③ 事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	人	3人	8人	2人	13人
④ 本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	人	4人	6人	3人	13人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 介護支援計画書・職員間の情報等から日常のケアに生かすようにしている。 利用前に新規の方の情報の目通しはできている。 夜勤の様子がミーティングを通して情報が伝わっている。 独居の利用者に対して民生委員さんとのつながりが2件できてきた。 現場の職員にも意図を伝えることに努めている。 イレギュラー、アクシデントで接することがあった時ご家族に代わって対応し、新しい情報として支援につなげている。 利用者の以前の職業・家族構成を覚えておくようにしている。 受診を家族へ依頼することで、家族に会えて関わられる機会になっている。 	

できていない点

200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・職務上地域の方とかかわりが乏しい。
- ・地域での関りがわからない。
- ・利用者の方同士の関係づくりが特に難しい。
- ・エコマップの作成ができていない。
- ・事業所が接していない時間帯のことが把握できていない。
- ・本人以外に接している可能性も新たには探っていない。
- ・利用者の環境が事業所での生活中心になっている。

(できていない点)

- ・地域の方との交流を図る努力不足
- ・利用者の方の情報把握が夜勤専従のため不十分。
- ・通いの方の自宅の様子などわからぬので環境がわかりづらい。
- ・現場にいる職員の人数により、トラブルに対しての対応が不十分な時がある。
- ・本人が新たな人間関係を拒む場合がある。
- ・本人、家族以外の関係者に広げていく必要性も個々に求めることも異なる。
- ・事業所所在地以外の状況がつかみにくい。
- ・一歩踏み出せていない。
- ・エコマップ 作成の時間を作れていない。（管理者任せにしていた）。
- ・以前まで利用者の方が関わっていた人達との関係がコロナウイルスの感染予防のため困難である。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

- ・年内にエコマップの書式を準備し、担当者を中心を作成する。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 2年 9月 16日 (9:30 ~11:00)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	管理者1名、介護支援専門員1名、介護職員11名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組めましたか？	1人	10人	人	2人	13人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 毎月のスタッフ会で行うモニタリングの時にプランの具体的支援内容は実施出来ていない内容とその原因、今後の対応で変更や追加が必要な事に焦点を絞り、検討する。(時間の効率も図る。)
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍の影響もあり、スタッフ会及びモニタリングの時間は短縮できている。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	人	4人	8人	1人	13人
② ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	2人	8人	1人	2人	13人
③ 日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか？	2人	9人	2人	人	13人
④ その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができますか？	2人	9人	1人	1人	13人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の方の変化に気づいた対応はできている。 利用者の方の出来事、様子、状態がミーティングで伝わっている。 支援の中には災害を想定した場合の対応も日々の天候に合わせてできている。 民生委員、地域包括、かかりつけ医等に相談し、本人を支える仕組みができつつある。 その日、その時に合わせた支援ができている（訪問の追加、通い時間の増減、宿泊の追加） 緊急性がある場合、即時対応に努めている。 家族の代行になる場合も経緯や結果などの説明を丁寧に行うように努めている。

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・地域の資源を使っての支援ができない。・自宅での暮らししぶりを把握できていない。・夜勤専従のため自宅へ行くことがない。・必要以上の支援をしてしまっていることがある。・スタッフ会の時間短縮に気を取られ、プランについての意見交換ができない。・支援の中で行事以外の散歩とかはできない。・本人と家族のニーズのすり合わせで家族のニーズが優先されがちである。・一度事業所が担ったサービスの見直しで、ご家族の方も状況が変わることもあるので、事業所の担うことが増えてしまう。	
(できていない理由)	
<ul style="list-style-type: none">・勤務日数の関係で何日もたってから情報を知ることがある。・スタッフ会での意見交換での焦点のしぶり方が明確になっていない（自分自身）・ケアプランの意見を伺う際、気になることを事前にピックアップしておくと良い。・行事以外の外出実施ができないのは、日々の業務でいっぱいの時がある。・地域資源の活用ができない理由として、資源に何があるのかわかつていない。・他のサービスへ移行を希望される方以外は、家族ができることも限られてくるので、その分事業所のサービスが増える。・日常的な関係性が積み上げられていない場合もある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
体調の変化以外にも天候、災害などに柔軟に合わせた利用者の支援を今後も続けていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和2年 9月 16日 (9:30 ~11:00)
6. 連携・協働	メンバー	管理者1名、介護支援専門員1名、介護職員11名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組めましたか？	人	3人	6人	4人	13人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センター、自治会の行事や研修など管理者、ケアマネ以外の職員が参加できるようにシフトの調整をする。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の前は行えていた。コロナ禍以降は感染拡大を防ぐために研修自体はあっても参加を自粛している。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	人	3人	3人	7人	13人
② 自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	人	2人	3人	8人	13人
③ 地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	人	1人	3人	9人	13人
④ 登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	人	1人	4人	8人	13人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>・医療機関など適切に通えており安心だ。 ・コロナの影響が出ていない頃は地域包括の研修参加は、シフトの調整等を行い参加できていた。 ・地域の消防訓練に少しだけ参加できた。 ・サービス担当者会議では、他のサービス機関と連携を取り合えている。 ・ケアマネ参加の会議も介護職員が必要だと思われるものは参加してもらうことができた。 ・コロナ禍の中、事業所での会議ができず、文書開催で多くの意見をいただいた。 ・医療機関の地域連携室や地域包括支援センターに対しての利用者相談や研修で事例報告などを行い、意見をもらったり新たな課題など見直しの機会があった。</p>	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・利用者以外の高齢者や子供等が訪れる機会がない。・コロナウイルスの対策として、活動やイベントができていない。・会議等参加する機会がない。・地域行事への参加 <p>(できていない理由)</p> <ul style="list-style-type: none">・コロナの影響があると考えられる。・地域行事へ参加するためのシフトが組めていない。・地域行事への日程が把握しきれていない。・研修などの不参加は参加可能なものもあったが、不特定多数に近い状況のリスクは避けることができた。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none">・コロナウイルスの感染に気をつけて利用者や事業所にとって必要性の高いものから研修への参加や地域の活動に参加する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 2年 9月 16日 (9:30 ~11:00)
7. 運営	メンバー	管理者1名、介護支援専門員1名、介護職員11名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組めましたか？	1人	4人	5人	3人	13人

前回の改善計画	・設置した意見箱の事を発信し、寄せられた意見を会議で公表し、地域と協働した取り組みにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	・意見箱は設置し、運営推進会議で発信も行っているが、ほぼ意見は入っておらず、活用はできていない。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？	1人	4人	6人	2人	13人
② 利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	人	10人	3人	人	13人
③ 地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	人	9人	2人	2人	13人
④ 地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	人	3人	7人	3人	13人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・家族からの意向は職員間で話している。 ・スタッフ会での意見交換はできている。 ・ご家族・利用者からの意見の取入れができている。 ・意見箱の設置はできているが意見が入っていない。 ・利用者の方から要望を聞くことがあり、お話を直接聞かせていただき、気持ちに寄り添い少しでも今後の改善につながるよう努めた。 ・地域の方やご家族に励ましの言葉をいただいた。 ・コロナの影響で自粛することが増え、運営推進会議を文書開催に変更したが、事業所の様子を詳しく記して報告し、それに対して意見をいただき、ありがたく感じた。 	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
---------	-------------------------------

- ・地域と協働した取り組みでは、地域とのかかわりが自分自身持てていない。
- ・地域の人の意見、苦情がわからない。
- ・運営推進会議の前回の内容を覚えきれていない。
- ・意見箱の活用は全くなかった。

(できていない理由)

- ・積極的に地域とのかかわりが持てていない。
- ・再度運営推進会議のファイルの見直しをしないといけない。
- ・地域と協働した取り組みの道筋を理解できていない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
---------------	----------

- ・スタッフ会にて苦情の有無を確認し、職員間で共有する。
- ・ケアマネの月1回の訪問で苦情について利用者や家族にお伺いを立てる。
- ・内部で解決できる事案は申し送りや掲示板等に記入し、解決する。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 2年 9月 16日 (9:30 ~11:00)
8. 質を向上するための取組み	メンバー	管理者1名、介護支援専門員1名、介護職員11名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組めましたか？	人	7人	4人	2人	13人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 事業所内・外の研修にそれぞれ1回以上参加し、学んだことをスタッフ会や3分間研修等を活用して共有する。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍以前は行えた。 コロナ禍以後は研修への参加を自粛している。 3分間研修は継続して行えているが、今年度の研修内容に関しての3分間研修は行えていない。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	人	6人	5人	2人	13人
② 資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	人	2人	7人	4人	13人
③ 地域連絡会に参加していますか	人	2人	1人	10人	13人
④ リスクマネジメントに取組んでいますか	人	6人	6人	1人	13人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 今年度は新型コロナを経験のないリスクととらえて法人のマニュアル作りや勉強会を行い継続中。 内部・外部への研修参加はできている。(コロナの影響がないまでは) 参加した研修内容をスタッフ会で報告をした。 3分間研修の継続。 研修で得たことをケアに生かせている。 	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 外部研修への参加がコロナの影響でできていない。 研修に参加できいてもスキルアップや資格取得につなげられていない。 自分の年齢を考えてスキルアップは目標としていない。 スキルアップのための取り組み 研修回数を増やせていない。 <p>(できていない理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍で開催する研修がないことや、研修参加へのリスクを考えて控えた。 8月に入り研修案内が届くようにはなったが、参加するリスクを考え控えている。 研修報告をまとめるのが遅い。 	

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

- ・3分間研修は引き続き行う。研修の担当者は自分の興味のある題材から研修に使う書類を用意する。担当は2か月ごとに決めておく。
- ・違う内容で3分間研修を入れる必要があった時は、そちらを優先する。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 2年 9月 16日 (9:30 ~11:00)
9. 人権・プライバシー	メンバー	管理者1名、介護支援専門員1名、介護職員11名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組めましたか？	1人	7人	5人	人	13人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> スタッフ会でケアの振り返りを行うために、事前に話し合う事柄を出す事ができるように職員専用の掲示版を準備する。 スピーチロックをなくす。身体拘束等適正化委員会に合わせて振り返る。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 職員専用の掲示板の準備はできているが、職員からの意見があまり出ない。 スピーチロックはなくせていない。定期的に行われる身体拘束等適正化委員会では積極的な意見がいくし村から活発に出ている。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 身体拘束をしていない	8人	5人	人	人	13人
② 虐待は行われていない	9人	4人	人	人	13人
③ プライバシーが守られている	3人	9人	1人	人	13人
④ 必要な方に成年後見制度を活用している	6人	6人	人	1人	13人
⑤ 適正な個人情報の管理ができる	3人	10人			13人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> スピーチロックをなくしていくよう心掛けている。 現場での話す内容の配慮をしている。 利用者に対する言葉かけは丁寧に行われている。 虐待は行われていない。 掲示板を準備することができた。 ケアの振り返りとして、朝のミーティングで発言したりしている。早いほうが良い場合はスタッフ会より朝のミーティングで実施している。 成年後見制度は、必要な方には活用できている。(新たな方はいない) プライバシー、個人情報の適正管理には注意を払っている。 職員やご家族も不適切な言葉や行動はできる限りその場で気づいてもらうような言葉かけを実施。 職員、ケアの負担は個別に聞くように努めている。 	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・業務に追われると、言葉かけが雑になってくる。・とっさの時、職員数が少ないとときにスピーチロックが出ている（言葉かけが雑になっている）。・プライバシーの配慮が不足。・スピーチロックが使われる場面として転倒のリスクが大きいときや、認知症の方に見られる。・申し送り時、個人名は伏せつつも様々な情報を利用者様の近くで読み上げることになっている。・言葉での虐待は行っている可能性はある。・ケアの気づきを記入することは現場の職員はほとんどない。	
(できていない理由)	
<ul style="list-style-type: none">・心に余裕がないことが考えられる。・職員間で言葉かけについてなど、伝えたいがどういった言葉かけが良いか見つからない。・対応の際、配慮した言葉かけができていなかつたり慣れの部分が出てきている。・言葉による虐待については利用者の言葉や表情なども含めて職員からの報告のみで、利用者の言動や様子から気づけていないこともあるのかもしれない。・ケアの気づきについては、気づいても言いにくい職員もいるのかもしれない。・ケアの気づきの記入は単に忘れている、もしくは意識していないことが考えられる。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none">・掲示板への書き込みがあった次の日に朝の申し送りで職員で共有する。その日に共有できなかった書き込みは改めてスタッフ会で共有する。・その日に共有できなかった書き込みは改めてスタッフ会で共有する。	